

模範解答

問 1 予想大的中

第 1 問 (各赤字はキーワードです)

問 1 退職給付債務について、退職給付見込額に言及したうえで説明しなさい (300 字)

退職給付債務とは、一定の期間にわたり労働を提供したこと等の事由に基いて、退職以後に従業員に支給される給付 (これを退職給付見込額という) としての退職給付のうち、**認識時点までに発生している**と認められるものをいい、**割引計算により測定**される。退職給付見込額の算定は、**将来の給付に影響を与える要因**、すなわち昇給率や脱退率等を考慮して算定される。退職給付見込額を算定した後は当期の負担額を**期間定額基準**、**給付算定式基準**のいずれかで計算する。また割引率については**安全性の高い債券 (国債など) の利回り**を基礎として決定する。

問 2 個別財務諸表と連結財務諸表との間で異なる処理を説明しなさい

積立状況を示す額を貸借対照表に計上する際は、個別財務諸表では「**退職給付引当金**」または「**前払年金費用**」で計上し、連結財務諸表では「**退職給付に係る負債**」または「**退職給付に係る資産**」で計上する。また個別財務諸表では**未認識過去勤務費用・未認識数理計算上の差異**は計上しないが、連結財務諸表では**税効果を調整のうえその他の包括利益**を通じて純資産の部に計上する。

当日受験生が対応できる範囲 (以下の内容で各 6 点 10 点満点) はあると思います。

(間違った表現も含めています。ご了承ください)

退職給付見込額とは、個々の社員が受け取る将来の退職金を現時点で発生していると思込まれる額のことである。退職給付債務は退職給付見込額を国債の金利などで割引計算した金額のことである。

退職給付債務と年金資産の差額を、個別財務諸表では退職給付引当金として計上するが連結財務諸表では退職給付に関する負債として計上する。個別財務諸表では控除する差異を連結財務諸表では控除しない。

第2問 (2点×7 計14点)

記号 (ア～タ)

1	2	3	4	5	6	7
カ	ア	シ	タ	ク	コ	エ

第3問 (2点×8 計16点)

記号 (AまたはB)

1	2	3	4	5	6	7	8
A	B	B	A?	A	A	B	A

※4→Bの可能性もあります。詳細確認いたします。

模範解答例は、弥生カレッジCMC独自の見解に基づいて作成したものであり、実際の正解とは異なる場合があります。あくまでも自己採点の目安として頂き、最終的な可否の判断はしないでください。



3月13日 13:00～ CMCシミュレータ (予定)

ぜひご参加下さい

建設業経理士は日商簿記1級に役立ちます。建設業経理士試験は試験申込期間がとて早いめ、ご注意下さい

建設業経理士1級 40,700円(税込) **4月末まで↓**
合格パック<3セット> **31,900円(税込)**

財務諸表

基本講義
過去問ゼミ

原価計算

基本講義
過去問ゼミ

財務分析

基本講義
過去問ゼミ

添削

原価計算強化塾

財務分析3問・4問強化塾

概説書解きまくり



↓↓ 2級受験予定の方にご紹介ください ↓↓

視聴期限が1開催分になって**新価格!!!!!!** 試験申込期間がとて早いめ、ご注意下さい

建設業経理士2級 13,200円(税込) **4月末まで↓**
新・パーフェクトセット **9,900円(税込)**

建設業経理士合格体験記

4月末までプラス1,000円キャンペーン

顔写真付きフルネーム：4,000円 顔写真なしフルネーム：2,000円

※ニックネームは対象外となります

※3科目セット・2科目セットの方は個別にお送りいただいても1回分になります

